

# 令和5年度 福井県立ろう学校スクールプラン

校 訓	自主…自分で考える子      敬愛…思いやりのある子      希望…大きな夢を持つ子
教育目標	<p>聴覚に障がいのある幼児児童生徒に対し、その心身の発達と能力・特性に応じた教育の実践を通して、社会人として自立するための基盤を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>心豊かで克己心の強い人間を育成する。</li> <li>敬愛の精神と豊かな知性を備えた人間を育成する。</li> <li>責任を重んじ自主性や社会性を備えた人間を育成する。</li> </ol>

令和5年度の 教育方針	<p><b>研究テーマ「子どもたちが自分らしく主体的に生きるための支援の在り方」</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>言語力・コミュニケーション力の育成</b> 一人一人の実態やニーズに応じた言語力・多様な手段を活用したコミュニケーション力の育成</li> <li><b>主体的・協働的な学びの推進</b> 自ら考え主体的に学ぶ授業づくり、地域の資源や人材を活用した学習活動の推進</li> <li><b>多様な状態像への対応力向上</b> 重複障がいや発達障がい等を併せ有する幼児児童生徒への理解と対応力の向上</li> <li><b>専門性・指導力の向上</b> OJTによる専門性の継承、校内専門研修の内容・方法等の検討や工夫、ICTの活用</li> <li><b>学校内外の聴覚障がい児に対する切れ目ない支援の推進</b> 校内および関係機関との連携により将来を見据えた個々の学びと支援をつなぐ</li> </ol>	学校業務改善のための取組
	<p>行事・業務等の精選や会議の効率的な運営、週1回のノー残業デー、教職員からの改善策の提案などにより業務改善を図る。</p>	人権教育の推進
		<p>人権研修や幼児児童生徒に関する情報共有をとおして、いじめ防止を含めた教員の人権意識の向上を図る。自己理解や他者理解を促す指導などをとおして、児童生徒の障がい認識を育む。</p>

